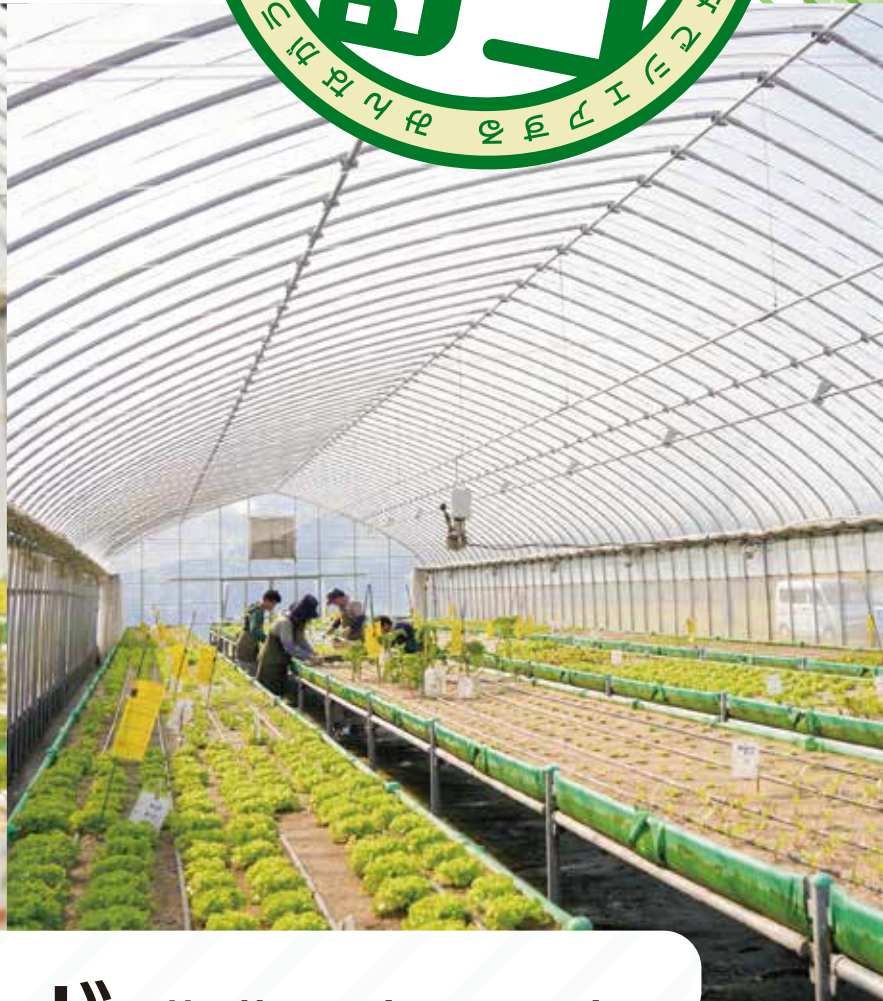
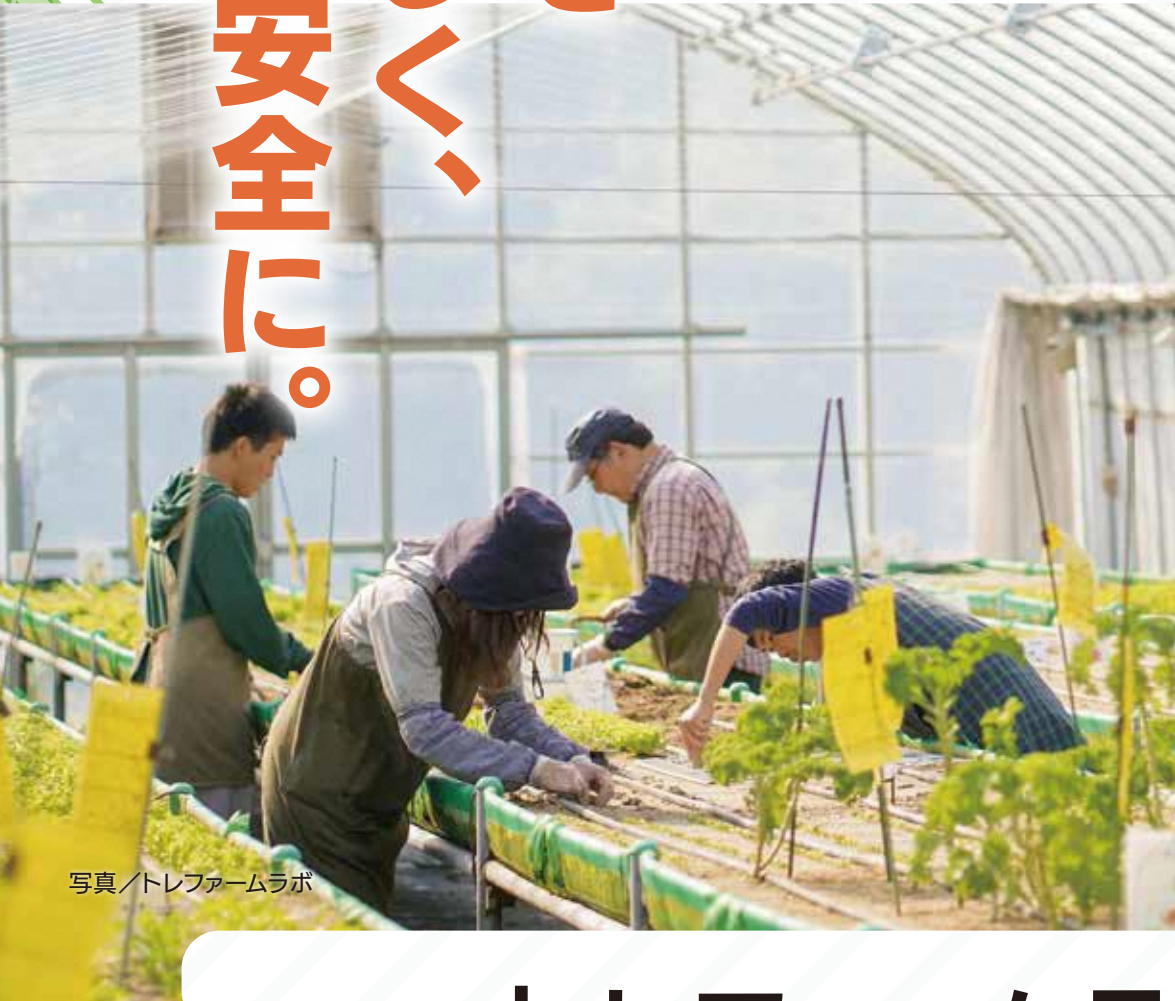


農業を たのしく、 安全に。 楽に、安全に。

精華町
《みつける》

知っているようで
知らない精華町を
みんなで再発見。

1
January 2024



写真/トレファームラボ

feature

トレファームラボ 農業×人×研究

農業を

「たのしく、楽に、安全に」
誰もが気軽に本格的に



株式会社国際電気通信基礎技術研究所（ATR）の一角にそのビニールハウス群はあります。背景には丘陵が広がり、思わず深呼吸してしまう景色です。

2つのスマイルが印象的なトレファームラボの看板を横目にビニールハウスの扉を開けると、そこには全面のグリーンが広がります。普通の畑と違うのは、その二面が地面よりも高い位置にある砂の培地ということ。トレファーム®の砂培地は地面から約90cmの場所にある高床式なのです。

トレファーム®は「たのしく、楽に、安全に」をテーマとした農業施設。高床式にすることで、腰を屈める作業が苦手な方や、車いすに乗った方など、一般的な農地では作業が困難な方でも農業を楽しむことができます。高床式砂培地以外にも、自動灌水システム、シェアリングシステムなど誰もが気軽に本格的に農業に取り組める仕組みがトレファーム®にはあります。

育てられているのはレタス、ベヒーリーフ、エディブルフラワーなど。少し栽培にコツのい

砂栽培農業施設 トレファーム®

けいはんなエリア・国立国会図書館関西館から道を挟んで西側にビニールハウスが並んでいるのをご存知でしょうか。はて、なぜこんなところにビニールハウス？ここは東レ建設（株）が全国に展開するトレファーム®という農業施設の実証実験農園「トレファームラボ」です。ここでは精華町ならではの魅力に出会うことができます。



トマトやメロンなどは東京農業大学の教授が指導に来てくださっています。

もちろん！精華町名物「洛いも」も栽培されています！



ATRとは？
なぜ、精華町に？

ATRは脳情報科学、深層インタラクシオン、無線通信などの情報通信分野と生命科学に関する研究開発および事業化を行っているけいはんな学研都市の中核機関です。

精華町のATRの中に、なぜトレファーム®の研究施設にあたるトレファームラボはあるのでしょうか。そこにはある農業の効果に秘密がありました。農業が人の脳にもたらす効果が注目されていたからです。

植物を育てたことのある方なら経験があるかと思えます。地面から出た芽を見た時のように、葉や茎に触れた時に感じるなんともいえない生命力、そして収穫した時の充足感。そのような植物を育てることが人の脳にもたらす様々な効果について、脳情報科学を研究するATRとトレファーム®を開発した東レ建設（株）が科学的に立証しようとしたことをきっかけに精華町の地にトレファームラボが誕生しました。



本文はこちらのQRコードから
オンラインでもご覧頂けます。

